

VRを活用した情動制御の研究開発

～恐怖を実経験することなく恐怖感を軽減する新しいアプローチ～

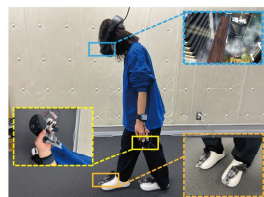


概要

仮想現実（VR）で自分が飛べるという体験をした人は「高所から落下しても自分で飛行して安全な状態に移行できる」という予測をして、高所恐怖反応が低減されることを明らかにしました。

VR 実験環境

皮膚電気抵抗（SCR）計測



VR ヘッドセット

フットトラッキング装置

高所歩行タスク



飛行タスク



VR 実験課題

実験前アンケート

VR 実験

実験後アンケート

仮想身体所有感タスク

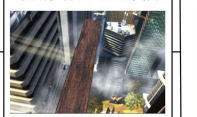
視覚運動同期



視覚触覚同期



高所歩行タスク 1 回目



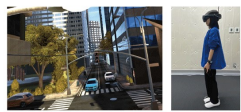
飛行タスク

コントローラーを操作しながら自由に飛行

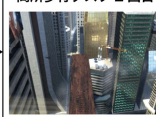


視聴タスク

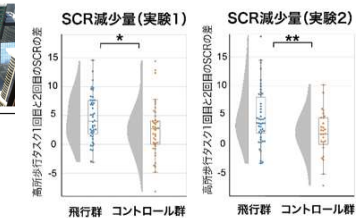
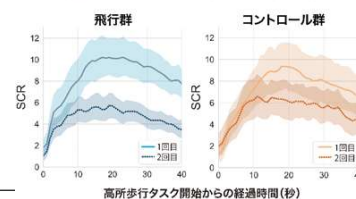
録画された VR 動画を視聴（操作しない）



高所歩行タスク 2 回目



高所歩行タスク時の恐怖レベル（SCR）



特徴

- 高所に対する生理的・主観的恐怖反応を低減
- 恐怖の低減度は、飛行体験の感じ方に相関
- 恐怖症への新たなアプローチ“行動ベースの予測”

ユースケース

- 高所恐怖症の生理的・心理的負荷軽減
- プレゼン前の緊張感の緩和

今後の展開

- VRを用いた恐怖症の治療
- 行動ベースの予測に基づく恐怖消去の発展
- 高所恐怖以外の恐怖症の緩和への応用

【お問合せ先】

未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 企画室
Mail : cinet-renkei@ml.nict.go.jp

NICTオープンハウス2026

Copyright © 2026 NICT All Rights Reserved.